

日本史籍講読5C－ I

科目ナンバリング JPH-225
選択必修 2単位

宮川 麻紀

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、日本古代史の史料を読解できるようになるため、まずはその前提となる漢文法を学ぶ。その上で、平安時代の歴史書『日本後紀』をテキストとして精読していく。受講者は順番に発表者となり、『日本後紀』の書き下し文と現代語訳、語句・人物説明を書いたプリントを作り、発表する。また、その解釈や背景にある歴史的事項について、発表者以外にも含めて全員で討議する。なお、『日本後紀』以外の様々な飛鳥・奈良・平安時代の史料も紹介し、その場で輪読することができる。

2. 授業の到達目標

- ①古代史料の読解力を習得する。
- ②日本古代史について幅広い知識を会得する。
- ③辞書や参考文献を用いて、自身の力で調べることができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)発表、授業への参加度 50%(到達目標①～③)
- (2)史料の読解に関する中間・期末テスト 50%(到達目標①と②)

4. 教科書・参考文献

教科書

黒板勝美 新訂増補国史大系『日本後紀』 吉川弘文館

参考文献

森田悌・黒板伸夫 訳注日本史料『日本後紀』 集英社

5. 準備学修の内容

- ・発表者はあらかじめ、『日本後紀』の書き下し文と現代語訳、語句・人物説明を記したプリントを作る。
- ・分からない漢字や熟語は『大漢和辞典』や『日本国語大事典』で、歴史用語の意味や意義は『国史大辞典』で調べておく。
- ・テストに備えて、ノートを見直し復習する。

6. その他履修上の注意事項

日本古代史の基本的な知識は、『日本の時代史』や『大学でまなぶ日本の歴史』(いずれも吉川弘文館)などの通史の本から習得しておいてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
 - ・『日本後紀』についての解説
 - ・授業の進め方や評価方法の説明、発表順の決定
 - ・『日本の時代史』『大学でまなぶ日本の歴史』から課題を出す
- 【第2回】 漢文の読み方の実践と日本古代史の知識習得
 - ・課題の発表
 - ・漢文の読み方の基本的な事項について、発問と解説
 - ・実際に『日本後紀』を読む
- 【第3回】 日本後紀の発表①
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第4回】 日本後紀の発表②
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第5回】 日本後紀の発表③
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第6回】 日本後紀の発表④
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第7回】 日本後紀の発表⑤
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第8回】 日本後紀の発表⑥
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第9回】 中間テストと史料輪読
 - ・史料読解、思考力のテスト
- 【第10回】 日本後紀の発表⑦
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第11回】 日本後紀の発表⑧
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第12回】 日本後紀の発表⑨
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第13回】 日本後紀の発表⑩
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第14回】 日本後紀の発表⑪
 - ・漢文の読解、平安時代史の習得
- 【第15回】 期末テストと史料輪読
 - ・史料読解、思考力のテスト